

# GET READY FOR THE TOEFL<sup>®</sup> TEST

TOEFL, TOEFL iBT, and TOEFL ITP are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS). This product is not endorsed or approved by ETS.

**Tadayoshi Kaya**

**Bill Benfield**

** SEIBIDO**

## はじめに

本書をお選びいただき、心より感謝致します。『GET READY FOR THE TOEFL® TEST』は、日本の大学生を対象とした TOEFL iBT® と TOEFL ITP® 用の教科書です。TOEFL テスト初心者でもアカデミックな内容を基礎から学べ、最終的には学術的に高難度な TOEFL テストを受験できるレベルに学生の英語力を向上させることを目的としています。

昨今、文部科学省の指針などでもグローバル化に対応した英語教育が謳われており、「実用的な英語力」を大学でも身につけることが求められています。このような流れの中で、英語の実用面である Speaking と Writing 能力を測ることのできる TOEFL テストが注目されています。本書ではこの TOEFL テストに焦点を当て、日本の大学生の学術分野における英語力を向上させようと、2年以上の歳月をかけ作成されました。

TOEFL テストで高得点を狙うテクニックを記載した一般書籍とは違い、本書では、学生たちが学術的な英語に触れ、語彙力を増やし、英語 4 技能を駆使して自分を表現できる基礎力を養成することをその主眼としています。TOEFL テストにあまり親しみのない学生にも優しいテキストを目指して作成されています。また、内容的にも量的にも日本の大学の授業を意識した構成となっています。

本書の 14 の学習 Unit では、「語彙」「文法」を基礎とし「読む」「聞く」「話す」「書く」の英語 4 技能を総合的に学べるよう配慮しました。単なる TOEFL テスト対策のための教科書という枠を超え、学術的な英語力を総合的に向上させることを目標として作成されています。次ページの本書の構成に留意してご活用いただくと、一層の学習効果が見込められると思われしますので、ご参考にしていただければ幸いです。

なお、内容・問題・注釈等には細心の注意を払っておりますが、お気づきの点等ございましたらご教授いただければ幸いです。

最後になりましたが、本書の企画をサポートしてくださいました、株式会社成美堂・代表取締役社長の佐野英一郎氏へ感謝の気持ちを表したいと思います。また編集・出版にあたり、一方ならぬご尽力を賜りました工藤隆志氏にも心より御礼申し上げます。

2016 年 9 月  
萱 忠義

## 本書の構成

本書は、「1つの Pre-Unit」と「14の学習 Unit」で構成されています。さらに、学習 Unit は2つのレベルに分かれ、前半部分 (Units 1～7) では比較的短めの学習素材を使用して、TOEFLに必要な基礎学力をつけさせることを目的とし、後半部分 (Units 8～14) では長めの学習素材を基に、TOEFL テストに実践的に対応できるようにさせることを目的としています。以下に本書の構成の詳細を記します。

## Pre-Unit

TOEFL テストに関しての前提知識がない学生を対象に、その詳細を説明する Unit となっています。具体的には、テストの概要、目的、歴史的変遷、構成、時間配分、各セクションの概要、スコアの詳細、受験方法などを説明しています。この Unit を一読すれば、TOEFL テストの全般的な知識を付けることが可能です。実際に学習 Unit に入る前に活用してください。

## 学習 Unit 前半部分 (Units 1～7)

前半部分では、TOEFL テストに必要な基礎力を身につけることを目的としているため、比較的短い学習素材を使いながら学習できる構成となっています。また、扱うトピックも学習者にとって比較的親しみやすい内容になっています。具体的には、大学生活、音楽、美術、文学、医療、健康、環境、植物、教育、天候、気候などを扱います。

前半部分の構成は以下のようになっています。



### Reading Section

- **Warm-up: Vocabulary for Reading**

次ページで扱う Reading Practice 1 に出る単語を確認します。アカデミックな文章を読む際に理解しておくべき語彙を中心に出题しています。

- **Useful Strategy!**

TOEFL の Reading セクションを解答するときに必要な方略や情報について解説しています。ここで学んだことを、実際に次のページ以降で実践できるようになっています。

- **Reading Practice 1**

120 字程度のアカデミックな英文を読んだ後、内容正誤問題で文章の内容を確認し、実際の TOEFL 形式の問題を解く構成となっています。どのように解答すべきかを学べるように、解答のヒントも提示されています。

## ● Reading Practice 2

ここでも 120 字程度のアカデミックな英文を読み、問題を解く形式になっていますが、解答のヒントはついていません。自分で解答に至る根拠を考え、問題を解くようになっています。



## Listening Section

### ● Warm-up: Listening to Conversation

150 字程度の会話を聴き、穴埋め形式の問題を解きます。アカデミックな内容の会話に慣れることを目的としたウォームアップです。

### ● Useful Strategy!

Listening セクションで使用できる方略や情報について解説しています。学んだことを、実際に次のページ以降で実践できるようになっています。

### ● Listening Practice 1

150 字程度のアカデミックな会話を聴きながら、会話についてのメモに穴埋めをします。メモを見ながら、内容正誤問題と実際の TOEFL 形式の問題を解く構成となっています。解答のヒントも提示されています。

### ● Listening Practice 2

同様に 150 字程度のアカデミックな会話を聴き、メモを取りつつ、問題を解く形式になっています。2 回目の練習問題なので解答のヒントはついていません。



## Speaking Section / Writing Section



各 Unit において交互に Speaking Section または Writing Section が扱われます。

### ● Speaking / Writing Sample

TOEFL で出題される Independent Tasks 形式で、Speaking または Writing の質問と解答サンプルが提示されています。模範解答を確認し、その構成や言語使用に関する問題が出題されます。

### ● Useful Strategy!

Speaking または Writing セクションで使える方略や情報について解説しています。TOEFL の Speaking や Writing に慣れられるよう、出来るだけ詳しく情報を提供できるようにしています。

### ● Speaking / Writing Practice

前ページで学習したことを踏まえ、同じ質問に対して自分で実際に解答する練習をします。解答に至るまでの過程をメモなどによって明示化することにより、Speaking または Writing に不慣れな学生が解答しやすくしています。

- **Additional Speaking / Writing Practice**

実際の TOEFL iBT 出題形式にできるだけ合わせた形で練習ができるように、Speaking では 2 問、Writing では 1 問の追加問題があります。

## 学習 Unit 後半部分 (Units 8 ~ 14)

---

後半部分では長めの学習素材を使用し、TOEFL テストに実践的に対応できる問題構成となっています。扱うトピックは前半部分に比べてより学術的な内容になり、その難易度も増します。具体的には、地球科学、天文学、歴史、人類学、考古学、哲学、心理学、生物学など学術性の高いトピックが扱われています。

後半部分の構成は以下のようになっています。



### Reading Section

- **Warm-up: Vocabulary for Reading**

次ページで扱う Reading Practice に出る単語を確認します。前半部分で扱った単語は 10 個でしたが、後半部分では 12 個の単語を出題しています。

- **Useful Strategy!**

Reading セクションの解答時に必要な方略や情報について、より高度な解説をしています。また、TOEFL の出題形式についての説明なども行っています。

- **Reading Practice**

前半部分の読解量の 2 倍である 300 字程度のアカデミックな英文を読みます。実際の TOEFL iBT 形式の問題を 3 問解く構成となっています。

- **Structure and Written Expression Questions for the TOEFL ITP Test**

TOEFL ITP で出題される、Structure と Written Expression の問題を各 1 問ずつ配置し、文章表現や文法知識についても学習できるようにしています。この部分は、TOEFL iBT には出題されない形式ですが、団体向けテストプログラムである TOEFL ITP を受験する場合にはご利用ください。



### Listening Section

- **Warm-up: Listening to Conversation**

150 字程度の会話を聴き、穴埋め形式の問題を解きます。穴埋めする箇所は、前半部分よりも長くなっており、難易度が増しています。アカデミックな会話に慣れるためのウォームアップです。

- **Useful Strategy!**

Listening セクションで使用できる方略や情報について解説しています。学んだことを、実際に次のページ以降で実践できるようになっています。

- **Listening Practice**

400 字程度のアカデミックな会話を聴き、会話についてのメモに穴埋めをします。前半部分に比べてメモは簡略化されているため、より高度な聴解力が求められます。また、実際に試験でメモを取ることを意識して記号が使用されています。TOEFL iBT 形式の問題を 3 問解く構成です。

- **Listening Questions for the TOEFL ITP Test**

団体向けテストプログラムである TOEFL ITP を受験する場合に必要となる、短い会話を聴きその内容を答える形式の問題を 2 問配置しています。



## Speaking Section / Writing Section



各 Unit において交互に Speaking Section または Writing Section が扱われます。後半部分でも Units 8 ~ 10 までの Unit 構成はほぼ前半部分と同じです（「つなぎ言葉」に焦点を置いた練習問題になっている点が相違）。しかし、Units 11 ~ 14 には Integrated Tasks の問題が配置され、以下のように前半部分とは違う構成になっています。

- **Useful Strategy!**

Speaking または Writing の Integrated Tasks に関するアドバイスが書かれています。TOEFL iBT のテストの中でも一番難しい部分なので、4 つの Unit に渡り記載されています。

- **Practicing Speaking / Writing Integrated Tasks**

「読んで」「聴いて」、「話す」または「書く」という形式の問題が用意されており、メモを取りながら、質問に答えるという作業を練習します。「話す」または「書く」という作業は、実際の TOEFL iBT の時間配分に合わせて練習できるようになっています。

# CONTENTS

はじめに	3
本書の構成	4
<b>Pre-Unit TOEFL® テストについて</b>	<b>10</b>

## **Unit 1** **Campus Life** [大学生活] 16

	Reading Section:	語彙選択問題の対処法 (1)
<i>Useful Strategy!</i>	Listening Section:	トピック聞き取り問題の対処法
	Speaking Section:	論理的に話す

## **Unit 2** **Music, Arts, and Literature** [音楽・美術・文学] 24

	Reading Section:	語彙選択問題の対処法 (2)
<i>Useful Strategy!</i>	Listening Section:	人物の立場を明確に把握する
	Writing Section:	論理的に書く

## **Unit 3** **Medicine and Health** [医療・健康] 32

	Reading Section:	選択問題の対処法 (1)
<i>Useful Strategy!</i>	Listening Section:	話題の流れを捉える
	Speaking Section:	Speaking での話題展開方法 (1)

## **Unit 4** **Environment** [環境] 40

	Reading Section:	選択問題の対処法 (2)
<i>Useful Strategy!</i>	Listening Section:	Listening での選択問題の対処法
	Writing Section:	Writing での話題展開方法 (1)

## **Unit 5** **Botany** [植物学] 48

	Reading Section:	選択問題の対処法 (3)
<i>Useful Strategy!</i>	Listening Section:	Listening Section の聴き方
	Speaking Section:	副詞を活用しよう

## **Unit 6** **Education** [教育] 56

	Reading Section:	内容把握のテクニック (1)
<i>Useful Strategy!</i>	Listening Section:	メモの取り方 (1)
	Writing Section:	Writing での話題展開方法 (2)

## **Unit 7** **Global Climate** [天候や気候] 64

	Reading Section:	内容把握のテクニック (2)
<i>Useful Strategy!</i>	Listening Section:	メモの取り方 (2)
	Speaking Section:	Speaking での話題展開方法 (2)

<b>Unit 8</b>	<b>Earth Science</b> [地球科学]	72
<i>Useful Strategy!</i>	Reading Section: センテンス挿入問題の対処法 Listening Section: メモの取り方 (3) Writing Section: 効果的な Writing (1)	
<b>Unit 9</b>	<b>Astronomy</b> [天文学]	80
<i>Useful Strategy!</i>	Reading Section: パラグラフごとに内容を整理 Listening Section: ワーキングメモリーを活用しよう Speaking Section: 効果的な Speaking	
<b>Unit 10</b>	<b>History</b> [歴史]	88
<i>Useful Strategy!</i>	Reading Section: Reading の内容を分類する問題の対処法 (1) Listening Section: 話の流れから、次の流れを予測する Writing Section: 効果的な Writing (2)	
<b>Unit 11</b>	<b>Anthropology and Archaeology</b> [人類学・考古学]	96
<i>Useful Strategy!</i>	Reading Section: Reading の内容を分類する問題の対処法 (2) Listening Section: 学術的な内容には語彙力が不可欠 Speaking Section: Speaking の Integrated Tasks の解き方 (1)	
<b>Unit 12</b>	<b>Philosophy</b> [哲学]	104
<i>Useful Strategy!</i>	Reading Section: Reading に必要な読む速度 Listening Section: 人名や地名の発音に注意する Writing Section: Writing の Integrated Tasks の解き方 (1)	
<b>Unit 13</b>	<b>Psychology</b> [心理学]	112
<i>Useful Strategy!</i>	Reading Section: Reading の要約問題の対処法 Listening Section: Listening のテストを受けるときの注意点 (1) Speaking Section: Speaking の Integrated Tasks の解き方 (2)	
<b>Unit 14</b>	<b>Biology</b> [生物学]	120
<i>Useful Strategy!</i>	Reading Section: Reading の問題を解くときの注意点 Listening Section: Listening のテストを受けるときの注意点 (2) Writing Section: Writing の Integrated Tasks の解き方 (2)	

# Pre-Unit TOEFL<sup>®</sup> テストについて

## TOEFL テストとは

TOEFL テストとは the Test of English as a Foreign Language の略で、アメリカのプリンストンに拠点を置く非営利教育団体、Educational Testing Service (ETS) によって実施されている英語のテストです。その名が示すように、英語を外国語として学習している人々を対象としたテストで、世界中で 130 か国 9,000 以上の大学や機関でそのスコアが利用されています。1964 年のテスト開始以来、延べ約 3,000 万人以上が受験しており、世界での認知度が最も高いテストであると言えます。

## TOEFL テストの目的

TOEFL テストの日本での利用は、今まで主に海外留学を目的とするものでした。しかし最近、国内の大学に進学するときに TOEFL スコアが求められることも多くなっています。既に多くの大学では、一般推薦入試、AO 入試、編入学試験などで TOEFL スコアが使用されており、今後、一般入試にも幅広く TOEFL が利用されていくことが予想されます。大学生にとっても、学内における単位認定に使用できたり、大学院入試を受ける際に利用できたりと、TOEFL スコアを活用できる場面は多くあります。また、2015 年に国家公務員総合職採用試験において TOEFL を利用した点数加算が決定されたことを受け、今後、政府機関や一般企業などにおいても TOEFL スコアを活用する動きが出てきています。

## TOEFL の変遷

現在実施されているテストは、TOEFL iBT (Internet-based Test) と呼ばれる形式のものです。2005 年から実施されている形式ですが、それ以前にはいくつかの違う形式のテストが存在しました。ここでは 1964 年のテスト開始以来のテスト形式の変遷について軽く触れていきます。

## TOEFL PBT (Paper-based Test)

これは紙面で実施される英語テストで、活用能力と理解力を測定する筆記試験です。現在はインターネットが利用できない地域に住む受験者を対象に実施されていますが、日本では 2007 年を最後に公開試験は行われていません。

## TOEFL CBT (Computer-based Test)

こちらはコンピュータ版テストで、1998 年から世界的に導入され始め、日本では 2000 年から実施されていましたが、TOEFL iBT の導入に伴い 2006 年に終了しました。この形式には Writing セクションが追加されました。また、基本的に毎日テストを受験することが可能となりました。

## TOEFL ITP (Institutional Testing Program)

紙面形式の団体向けテストプログラムで、前述の PBT の過去問題を再構成しなおしたテストです。iBT 形式のテストと高い相関があるとされていますが、留学する場合などの公式スコアとしては使用できません。テスト実施が比較的簡単なため、大学でのプレイズメントテストや内部選考基準などに使用されています。Level 1 と Level 2 があり、Level 1 では PBT と問題数とスコアの範囲は同じです。

このように多数の形式の TOEFL テストが存在するので、ETS では以下のように各形式の換算表を作成しています。

iBT	PBT / ITP (Level 1)	CBT
120	677	300
114–115	650–653	280
100	600–603	250
79–80	550	213
61	500	173
45–46	450–453	133
32	400–403	97
19–20	347–350	63
0	310	0

## TOEFL iBT の概要

TOEFL iBT テストは、大学レベルの学術的内容を英語で理解し、課題を遂行できるかを測るテストです。具体的には、「読む」「聞く」「話す」「書く」の英語 4 技能を総合的に測定することが可能です。世界的には 2005 年から実施されているテストですが、日本では 2006 年から行われており、10 年以上の歴史があります。

TOEFL iBT は、TOEFL の日本事務局（国際教育交換協議会：CIEE）が定めるテストセンターにおいて行われ、試験自体はすべてコンピュータ上で実施されます。リスニングとスピーキングには、ヘッドセット（ヘッドフォンとマイクの一体型デバイス）を使用し、音声を聴いたり、自分の声を吹き込んだりします。また、TOEIC などとは違い、メモを取ることが許されています。

## TOEFL iBT の構成と時間配分

TOEFL iBT の構成と時間配分は以下の表のようになっています。テスト時間は 4 ～ 4.5 時間と長く、Listening と Speaking の間に 10 分間の休憩が入ります。

セクション	時間	内容	出題・解答形式
Reading	60 ～ 80 分	長文読解問題 > パッセージ数：3 ～ 4 個 > 各パッセージの長さ：700 語程度 > 各パッセージの問題数：12 ～ 14 問	> 4 肢択一問題 > 単文挿入問題 > 要点把握問題 > 要点分類問題
Listening	60 ～ 90 分	講義の聴き取り問題 > 講義数：4 ～ 6 個 > 各講義の長さ：3 ～ 5 分・500 ～ 800 語程度 > 各講義の問題数：6 問 会話の聴き取り問題 > 会話数：2 ～ 3 個 > 各会話の長さ：3 分 > 各会話の問題数：5 問	> 4 肢択一問題 > 2 択問題 > Yes/No 問題 > 並び替え問題 > 分類問題 > 音声引用問題
休憩	10 分		
Speaking	20 分	Independent tasks > 問題数：2 問 > 時間：準備 15 秒・解答 45 秒 Integrated tasks ① (Read / Listen / Speak) > 問題数：2 問 > 時間：準備 30 秒・解答 60 秒 Integrated tasks ② (Listen / Speak) > 問題数：2 問 > 時間：準備 20 秒・解答 60 秒	> ヘッドセットのマイクを使って、自分の解答をコンピュータに向かって録音
Writing	50 分	Integrated task (Read / Listen / Write) > 問題数：1 問 > 時間：準備・解答合わせて 20 分 Independent task > 問題数：1 問 > 時間：準備・解答合わせて 30 分	> キーボードを使って、自分の解答をタイプ
合計	4 ～ 4.5 時間		

## 各セクションの概要

### (1) Reading セクション

英語圏の大学生が読むレベルのアカデミックな内容の文章が使用されます。文系・理系の分野を問わず、多岐にわたる分野から出題されるため、読解には高い語彙力や文法力が必要となります。しかし、専門用語については文章中で説明がなされるので、特殊な専門知識がなくても問題ありません。

### (2) Listening セクション

講義問題と会話問題が出題されます。講義問題では、多岐にわたる学術分野から出題された講義を聴き、設問に答えます。1人の講師のみで講義が進む場合と、講義中に講師と学生との間でやりとりが行われる形式で講義が進む場合との2パターンがあります。会話問題では、アメリカの大学生活でよくある場面での会話が出題されます。学生ともう1人の登場人物（教授や職員や別の学生など）との日常的な会話であるため、講義問題に比べると口語表現が多く使用される傾向があります。

### (3) Speaking セクション

このセクションでは、大きく分けると Independent tasks と Integrated tasks の2種類の問題が出題されます。どちらも解答は、ヘッドセットのマイクを使って、自分の解答をコンピュータに向かって録音します。まず、Independent tasks は Speaking のみを測る独立型の問題で、個人的な好みに対する意見を述べる問題と、2つの選択肢のうちどちらかを選び自分の意見を解答する問題との2つがあります。Integrated tasks では、Reading と Listening を行った後に Speaking を行う3技能型の問題と、Listening を行った後に Speaking を行う2技能型の問題との2つがあります。

### (4) Writing セクション

Speaking セクションと同様に、このセクションでも Independent task と Integrated task の2種類の問題が出題されます。いずれの形式も、キーボードを使って自分の意見をタイプする形で解答します。Independent task では、与えられた一般的な話題に関する質問に対して英作文を行う問題です。それに対し Integrated task では、ある話題に関する文章を読み、関連する話題の講義を聞いた後に、それら両方の要点をまとめて英作文を行う問題です。

## スコアの詳細

TOEFL iBT では、以下の表にあるようにスコアが配点されており、120 点が満点となっています。Reading と Listening では事前に設問の正解数に応じた素点が決められており、コンピュータがその素点を 30 点満点のスコアに換算します。Speaking では、録音された解答を ETS 認定の採点者が評価します。6 つの課題が 0 ～ 4 点の間で評価され、その合計点が 30 点満点のスコアに変換されます。評価基準は、話し方、表現力、トピックの展開方法の 3 つとなっています。Writing は 0 ～ 5 点の間で評価され、30 点満点のスコアに変換されます。人間の採点者と eRater という機械によって採点され、課題の展開方法、文章構成、文法、語彙などを統合的に評価します。

セクション	範囲	レベル
Reading	0 ～ 30	> High (22 ～ 30) > Intermediate (15 ～ 21) > Low (0 ～ 14)
Listening	0 ～ 30	> High (22 ～ 30) > Intermediate (15 ～ 21) > Low (0 ～ 14)
Speaking	0 ～ 30	> Good (26 ～ 30) > Fair (18 ～ 25) > Limited (10 ～ 17) > Weak (0 ～ 9)
Writing	0 ～ 30	> Good (24 ～ 30) > Fair (17 ～ 23) > Limited (1 ～ 16)
合計	0 ～ 120	

TOEFL iBT は 120 点満点となっていますが、実際に目標とすべきスコアは、一般的な大学の学部で 61 ～ 80 点、難関大学や大学院で 80 ～ 100 点とされています。しかし、超難関大学ではこれ以上の点数が実質必要になる場合もあります。これらの点数はあくまで目安であり、自分の志望する大学が実際に何点のスコアを求めているのかを事前に確認する必要があります。

## TOEFL iBT テスト受験方法

実際に TOEFL iBT を受験する際には、以下のサイトを活用しましょう。受験方法や受験料などは変更される可能性がありますので、以下のサイトで必ず最新情報を確認してください。

Educational Testing Service (アメリカの TOEFL iBT 開発機関)

- <https://www.ets.org/toefl> (英語)
- <https://www.ets.org/jp/toefl> (日本語)

国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部 TOEFL テスト日本事務局

- <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

プロメトリック株式会社 (テスト運営・受付業務)

- <http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>

また、TOEFL iBT の受験要綱である、TOEFL iBT Registration Bulletin を事前に熟読しておくこともお勧めします。テストの概要、テスト登録方法、試験当日の留意点、スコアの取り扱いなどについて詳細に説明されています。

- <https://www.ets.org/toefl/ibt/about/bulletin>

## TOEFL ITP の情報

紙面形式の団体向けテストプログラムである TOEFL ITP の情報は以下のサイトから得られます。個人的には申し込むことができないテストですが、大学などの機関を通して受験をする場合に参考になるとよいでしょう。

国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部 TOEFL テスト日本事務局

- <http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/>

# Campus Life

まずは、TOEFLのトピックとしては一番親しみやすい **Campus Life** を扱っていきます。アメリカの日常的な大学生活についての内容ですが、難易度の高い単語もあるので注意が必要です。これから一緒に TOEFL に必要な英語力を身につけていきましょう。



## Reading Section



### Warm-up: Vocabulary for Reading

次ページの Reading 問題に出る単語の確認です。単語の意味を右側から探し、線で結びましょう。

- |          |                  |              |
|----------|------------------|--------------|
| <b>A</b> | 1. notice      • | • 【他動】…に押印する |
|          | 2. simply      • | • 【他動】…を提示する |
|          | 3. present     • | • 【副】単に      |
|          | 4. stamp       • | • 【名】通知、告知   |
|          | 5. renew       • | • 【他動】…を更新する |

- |          |                  |                  |
|----------|------------------|------------------|
| <b>B</b> | 1. maximum   •   | • 【他動】…に電子メールを書く |
|          | 2. return      • | • 【他動】…を返却する     |
|          | 3. email       • | • 【名】最大限（量）      |
|          | 4. at once     • | • 【形】現在の         |
|          | 5. current     • | • 【副】すぐに         |



### Useful Strategy! 語彙選択問題の対処法（1）

#### ●前後の文章の流れから推測

単語の問題というと、その単語だけを見てしまいがちです。しかし、前後の文章の流れに目を向け、その段落の「topic が何」について書かれ、「どのような意見」が述べられているのかを理解することで、分からない単語をイメージする（プラスなのかマイナスなのかなど）ことができる場合があります。実際に次の問題で、この方略を試してみましょう。



## Reading Practice 1

次の英文を読みましょう。

### Library Rules

Students can use their current student I.D. card as their library card. If you plan to take any books out of the library, you can check them out at the main desk. A maximum of five items can be checked out at any one time. Simply present your I.D. card with the books to the desk attendant, and they will be stamped with the **due date**. For returning books, you will be emailed a reminder notice a few days before items are due. If you receive a notice for a book you believe you have already returned, please contact us at once. You can renew books online by accessing your **account** on the library website. However, overdue books must be returned to the library for renewal.

- **I.D. card:**  
Identification Card  
の略で、身分証明書
- **check A out:** A を借  
り出す
- **attendant:** 【名】係  
員
- **reminder:** 【名】催促、  
注意、合図
- **online:** 【副】インター  
ネット上で

### Reading Comprehension Questions

リーディングの内容として正しければTを、間違っていればFを書き入れましょう。

1. The library will inform students by email just before books must be returned. ( )
2. Students can renew any book online by accessing the library's website. ( )

### Reading Questions for the TOEFL iBT/ITP Test

正しい答えを選びましょう。

1. The word "due" in the passage is closest in meaning to

- (A) starting
- (B) expected
- (C) reserved
- (D) desired



この部分で問われている due という単語は、the due date という名詞句の中で使用されており、形容詞としての役割を果たしています。前後の文脈から、「貸出時に押印される日にち」と解釈することができます。「返却日」を表していることが分かります。

2. The word "account" in the passage is closest in meaning to

- (A) a private right to use online service
- (B) an explanation of an event
- (C) a sum of money in a bank
- (D) a reminder to return books to the library



通常 account とは「銀行口座」や「説明」などの意味になりますが、ここで使用されている意味はそれとは異なります。この単語の前後を読み、1つ1つの選択肢が文章の流れに当てはまるかを確認しましょう。



## Reading Practice 2

次の英文を読みましょう。

**Dormitory Rules**

1. Curfew is at 11:00 p.m. each night. Students must return to their room before this time.
2. Guests must present valid identification at the entrance and register with the appropriate duty personnel. Guest visiting hours are from 8:00 a.m. to 10:00 p.m.
3. Students may not engage in activities that will **interfere** with the studying or quality of rest of other residents in the dormitories. These include loud talking or shouting, and loud music.
4. Smoking and consumption of alcohol are strictly prohibited within the dormitories.
5. Pets (with the exception of fish) are not allowed inside the dormitories.
6. Maintain cleanliness and tidiness inside the dormitory rooms and common areas. Do not store personal belongings in the hallways, stairwells, and public areas of the dormitory buildings.

• **dormitory**: 【名】寮、寄宿舎

• **curfew**: 【名】門限、夜間外出禁止時刻

• **valid**: 【形】有効な、効力のある

• **appropriate**: 【形】適切な

• **consumption**: 【名】摂取、消費

• **prohibit**: 【他動】…を禁止する

### Reading Comprehension Questions

リーディングの内容として正しければTを、間違っていればFを書き入れましょう。

1. Guests must leave at least one hour before the dormitory closes. ( )
2. No pets of any kind are allowed in the dormitory. ( )

### Reading Questions for the TOEFL iBT/ITP Test

正しい答えを選びましょう。

1. The word “**interfere**” in the passage is closest in meaning to  
 (A) stop       (B) deny       (C) disturb       (D) preserve
2. Which responsibility of the duty personnel is specifically mentioned?  
 (A) Enforcing curfew time  
 (B) Checking the cleanliness of rooms  
 (C) Preventing alcohol and tobacco use  
 (D) Monitoring arrival and departure of guests



# Listening Section



## Warm-up: Listening to Conversation



音声を聞いて空所に適語を入れましょう。

Listen to a conversation between two college students talking about the same course that they are taking this semester.

**M:** <sup>1</sup>( ) the course on 20th century European history? I'm having a hard time following it.

**W:** Me, too. I'm worried I'm going to get a bad grade or even fail.

**M:** I know some other people in the class are struggling, so <sup>2</sup>( ) a study group. I know at least four or five classmates would be interested in joining. How about you?

**W:** Yes, that's a great idea. Please add my name to the list. I think <sup>3</sup>( ) will be finding a time to get together.

**M:** Yes, but I've arranged a meeting tomorrow lunchtime <sup>4</sup>( ) so we can discuss the schedule. Can you meet us outside the main cafeteria at 12:30?

**W:** Sure, I'll be there. Also, what about creating an online chat group <sup>5</sup>( ) meetings and stuff?



### Useful Strategy! トピック聞き取り問題の対処法

#### ● 会話や講義の冒頭部分をしっかり聞く

会話や講義の初めの部分には「登場人物」「トピック」「話の目的」など、全体を理解するための情報が詰まっています。ここを聞きのがすと会話の全体像が分からなくなってしまうです。誰と誰が、いつ、どこで、何について話しているのかに注意を払うことが大切です。

例えば、上の Warm-up では、冒頭の発言から「20 世紀のヨーロッパ史のクラスが難しい」ことが問題であることが分かります。また、相手の発言から、相手も同様にそのクラスが難しいと感じていることが分かり、「この難易度の高いクラスへの対処法」について話が進んでいくことが容易に推測できます。このように、会話の冒頭部分には有益な情報が詰まっていますので、しっかり聞くようにしましょう。



# Listening Practice 1



下の表は、次の学期の履修登録についての学生の会話をまとめたメモです。CDの音声を聞いて、( )内の正しい方を選びましょう。

## 男子学生の問題点

- The man is still working on his <sup>1</sup>( **class registration / term paper** ).

## 男子学生の置かれた状況 No. 1

- The <sup>2</sup>( **graduation / deadline** ) is just around the corner.

## 男子学生の置かれた状況 No. 2

- He has a problem with his <sup>3</sup>( **elective courses / required courses** ).

## 男子学生の置かれた状況 No. 3

- His parents want him to take <sup>4</sup>( **computer courses / liberal arts courses** ).

## Listening Comprehension Questions

リスニングの内容として正しいければTを、間違っていればFを書き入れましょう。

1. Both students have yet to submit their course choices for next semester. ( )
2. The male student is in his first year at university. ( )

## Listening Questions for the TOEFL iBT/ITP Test

もう一度聞いて、メモを確認しながら、正しい答えを選びましょう。

1. What has he been working on?

- (A) Computer courses
- (B) Class registration
- (C) Required courses
- (D) Fine art and philosophy



会話の冒頭部分に注目することが必要です。男子学生の初めの発言に注目することで、この問題は簡単に解答することができます。また、解答する時には、上記のメモを参考にすることも忘れないようにしましょう。

2. What is the male student's problem?

- (A) The student counselor has not given him any good advice.
- (B) He and his parents disagree about what he should study.
- (C) His grades for his required courses have not been good.
- (D) The courses he wants to study are not available.



男子学生は自分の視野を広げたいと言っている一方で、両親は実用的な学問を勧めています。それぞれの主張の違いに注目すると解答できます。



## Listening Practice 2



下の表は、ライティング講習会についてのアナウンスをまとめたメモです。CDの音声を聞いて、( )内に必要な情報をメモしましょう。

### アナウンスの対象

- For <sup>1</sup>( )

### 目的

- To develop and improve their <sup>2</sup>( ).

### 内容

- To learn how to express yourself in a precise, concise and direct way, and find about all the <sup>3</sup>( ) on campus.

### 講師名

- Daniel Thomas, a teacher with more than <sup>4</sup>( ) years' experience in this field.

### 回数

- The workshop will be held <sup>5</sup>( ) times, but each student can attend only <sup>6</sup>( ).

### 申し込み方法

- For full details of the schedule and application procedures, we must talk to <sup>7</sup>( ).

## Listening Comprehension Questions

リスニングの内容として正しければTを、間違っていればFを書き入れましょう。

1. The speaker is encouraging all the students in the class to attend the workshop. ( )
2. Along with writing instruction, the course will introduce students to other helpful resources. ( )

## Listening Questions for the TOEFL iBT/ITP Test

もう一度聞いて、メモを確認しながら、正しい答えを選びましょう。

1. Who is the main target of the workshop?
 

(A) Instructors	(C) Faculty members
(B) Experienced teachers	(D) International students
2. Who will give interested students details of the workshop?
 

(A) Their class teacher	(C) Daniel Thomas
(B) The English faculty	(D) College authorities



# Speaking Section



## Speaking Sample



以下にある Speaking の解答例を読み、この人物の好きな科目とその理由を日本語で書き出しましょう。

**Q:** What is your favorite subject in college? Use specific reasons to support your answer.

My favorite subject in college is English composition. Let me tell you why. Because of my father's work, I spent several years in the U.S. when I was younger. As a result, my spoken English is very fluent. But after entering college, I realized that even though I had no trouble with day-to-day conversations in English, I found it hard to express more complex ideas. I lacked the necessary vocabulary and had trouble organizing my thoughts. My English composition classes have forced me to expand my vocabulary and helped me to express my ideas in a clearer way.

好きな科目： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_



### Useful Strategy! 論理的に話す

#### ● 短い時間に的確な理由を

上のような問題は Independent Task と呼ばれ、独立した設問が一文与えられ、自分の意見や考えを述べるタイプのもので、実際のテストでは**準備時間はたったの 15 秒間**で、そのあと **45 秒間で話を論理的に展開**しなくてはなりません。15 秒の準備時間で、質問に対する自分の答えを決め、それを論理的にサポートできる理由を短時間で考え出す必要があるのです。

日本では理由を明確に答えるという練習をしてきていない場合が多く、論理的な思考を練習する必要があります。例えば、「自分の大学は素晴らしい大学である」という場合、「駅に近いから」「サークルが多くあるから」「施設がきれいだから」などでは論理的な理由になりません。大学は「勉学の場」であると考え、「有名教授が多い」「図書館の蔵書数が多い」「視野を広げられる留学先の数が多い」など、直接的理由になる事柄を示す必要があります。英語で考える前に、日本語でも論理的思考ができているかを確認してみましょう。



## Speaking Practice

ここでは前ページのスクリプトを参考にして、同じ質問に自分でも答えてみましょう。まずは、時間を意識しながら、自分の意見を以下のメモに英語でまとめることから始めます。書き終わったら、自分の意見が論理的になっているかを友達と確認してみましょう。

- *Memo*
- My favorite subject in college is \_\_\_\_\_
- Reason (1) \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_
- Reason (2) \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_



## Additional Speaking Practice

ここでは実際のテストの時間配分を考慮した練習をします。できるだけ 15 秒以内でアウトラインを準備し、45 秒以内で発話してみましょう。

1. What do you like best about your university? Include reasons and details in your explanation.
2. Some people prefer to study alone, while others prefer to study with other students. Do you like to study by yourself or with your friends? Give specific reasons to support your answer.